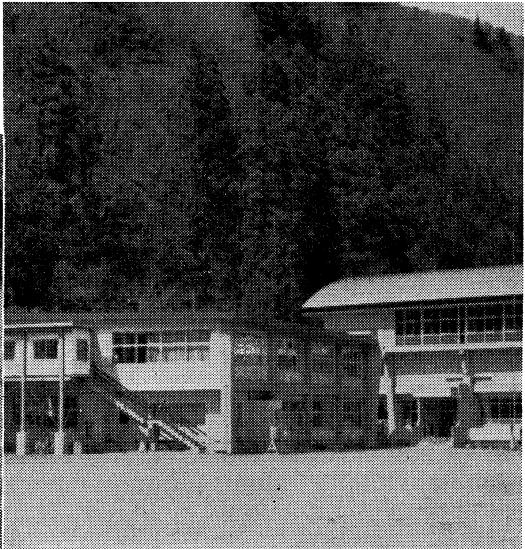


檜枝岐村立檜枝岐中学校

山のふもとの校舎 ▶

▼ 第19回全国中学校スキー大会にて



三年

小倉節子

福島県の南西に位置し、燧ヶ岳や会津駒ヶ岳などの山々に囲まれ、尾瀬の入口にもなっている檜枝岐は、人口六百六十人の村です。しかし、面積は村では県下第一の広さがあります。更に、日光国立公園の一部にも当たり、先にあげた山の頂上からは、遠く富士山を望むことができます。そのため、水芭蕉や紅葉の季節になると、観光客が多くなり、静かな村も急にぎやかになります。また、夏は涼しく、冬は二メートルもの雪が積もり、半年間をその雪の中過ごします。

こうした中にある檜枝岐中学校は、全校生徒三十九名という少人数の学校です。校舎は、小学校と統いており、体育館や給食室は小学校と共同で使うようになっています。また、村の全戸に温泉がひかれているため、学校で使うお湯は温泉です。だからいつでもふんだんにお湯を使うことができます。

ところで、檜枝岐中学校で盛んなスポーツといえば、やはりアルペンスキーです。全国大会出場経験者も多く、男子十八人中六人が出場しています。各種大会でも、ほとんどが上位入賞を認め、スキーの檜枝岐と言われるほどです。今では、檜枝岐中学校の誇りとも言えるスポーツになっています。

私は、今までに何度か、大きい学校をうらやましく思ったことがあります。また、夏は涼しく、冬は二メートルもの雪が積もり、半年間をその雪の中過ごします。

環境の中で勉強やスポーツができる私達は、とても幸福だと思います。そして、いつまでも守り続けていきたい学校です。

また、五月と八月に、国指定の「檜枝岐の舞台」で演じられる歌舞伎に出演し、貴重な経験をした友達もたくさんいます。



(校長 高久 利美・生徒数 39名)

ぼくの学校わたしの学校